

TOTO

固定金具 (パブリック用すり、背もたれ、前方アームレスト) 軽量鉄骨用取付金具


商品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。
取り付け後は、お客様にご使用方法を十分にご説明ください。



1

安全上の注意 (安全のために必ずお守りください)



取り付け前に、この「安全上の注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付けてください。

- この説明書では商品を安全に正しく取り付けていただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。
- お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

表示	意味
 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負うことが想定される内容を示しています。

	は、してはいけない「禁止」内容です。 左図は、「分解禁止」を示します。
	は、必ず実行していただく「強制」内容です。 左図は、「必ず実行」を示します。

警告

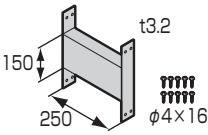
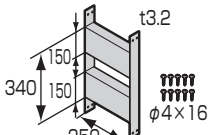
	必ず実行	商品が外れたり、ガタツキが生じないように取り付ける 商品が外れたり、壁が壊れたりして、使用される方が転倒し、けがをするおそれがあります。
	分解禁止	修理技術者以外の人は絶対に分解したり、修理・改造は行わない 商品の破損や脱落により、けがをするおそれがあります。

2


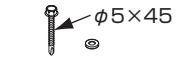



取り付け前に

軽量鉄骨用取付金具は、各種セットを組み合わせ使用します。施工方法にあった固定金具をご注文ください。
商品の取付位置は、カタログなどを参照してください。軽量鉄骨用取付金具使用の場合、壁仕上げ後、取付金具の範囲内で商品の取付位置が調整できます。

<軽量鉄骨用取付金具の種類>

外観	品番	セット内訳
	T110D37	固定金具1カ所分 ・取付金具/1個 ・ドリルねじ/10本
	T110D36	固定金具上下2カ所分 ・取付金具/1個 ・ドリルねじ/10本

<各種セット>

外観	品番	セット内訳 (固定箇所1カ所分)
	T110D44 (ボルトセット)	・ボルト (M6×50) /4本 ・座金/4個
	T110D45 (ドリルねじセット)	・ドリルねじ (φ5×45) /4本 ・座金/4個
	T110D46 (メカナットセット)	・M6メカナット/4個 ・ボルト (M6×50) /4本 ・座金/4個
	T110D53 (ボルトセット)	・長ねじボルト (M10×60) /4本
	T110D54 (メカナットセット)	・長ねじボルト (M10×60) /4本 ・M10メカナット/4個

裏面へつづく

軽量鉄骨下地

固定式手すり・背もたれ

ドリルねじ固定の場合

固定金具品番 T110D36、T110D37、T110D45

①商品取付位置に、軽量鉄骨取付金具をt2.3mm以上の補強材の軽量鉄骨にドリルねじで固定する。

注1

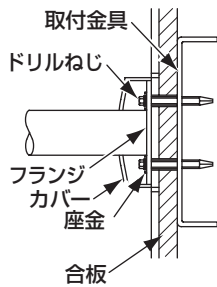
②壁仕上げ後、心出しを行いφ3～3.5mmドリルで下穴をあける。

注2

③仕上げ壁部の穴をφ8mm程度で逃がす。

④座金、フランジの取付穴にドリルねじを通し商品を固定する。**注3**

⑤カバーを仕上げ面に押し付ける。



ボルト固定の場合

固定金具品番 T110D36、T110D37、T110D44

①商品取付位置に、軽量鉄骨用取付金具をt2.3mm以上の補強材の軽量鉄骨にドリルねじで固定する。

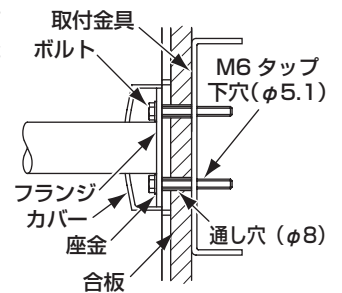
注1

②壁仕上げ後、心出しを行い、M6タップ加工の下穴φ5.1をあける。仕上げ壁部はφ8程度で逃がす。

③軽量鉄骨用取付金具にM6タップ加工を行う。

④座金、フランジの取付穴にボルトを通し商品を固定する。**注3**

⑤カバーを仕上げ面に押し付ける。



メカナット固定の場合

固定金具品番 T110D36、T110D37、T110D46

①商品取付位置に軽量鉄骨用取付金具をt2.3mm以上の補強材の軽量鉄骨にドリルねじで固定する。

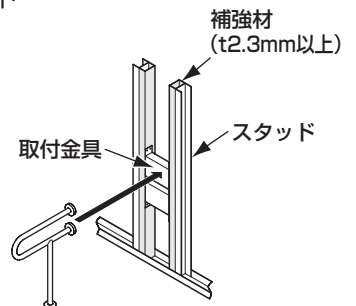
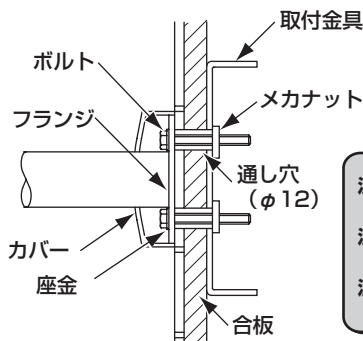
注1

②壁仕上げ後、心出しを行い、メカナットの通し穴φ12mmをあける。

③メカナットを穴に挿入し、セットする。

④座金、フランジの取付穴にボルトを通し商品を固定する。

⑤カバーを仕上げ面に押し付ける。**注2**



注意

注1 補強材の軽量鉄骨はt2.3mm以上を使用してください。商品が外れたり、壁が壊れたりすることがあります。

注2 商品に傷を入れないために、下穴をあけた方が施工がスムーズです。

注3 長ねじボルトの穴の周囲にシーリング剤を必ず塗布してください。

可動式手すり・前方アームレスト

ボルト固定の場合

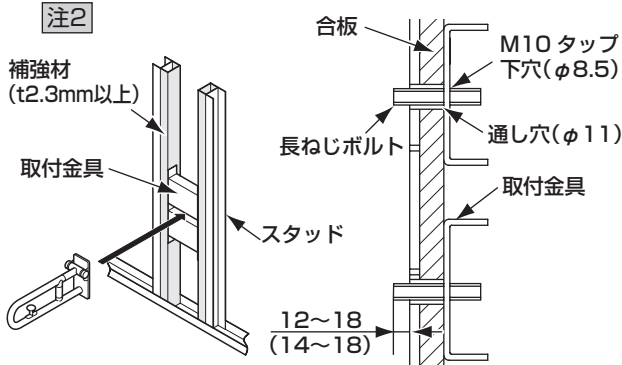
固定金具品番 T110D36+T110D53

①商品取付位置に、軽量鉄骨金具をt2.3mm以上の補強材の軽量鉄骨にドリルねじで固定する。**注1**

②壁仕上げ後、心出しを行いM10タップ加工の下穴φ8.5mmをあけ、タップ加工を行う。

③長ねじボルトをねじ込み、壁仕上げ面より長ねじボルトの出代が12～18(前方アームレストの場合14～18)mmの範囲となるように調整する。

注2



(14～18)寸法は前方アームレストの場合

メカナット固定の場合

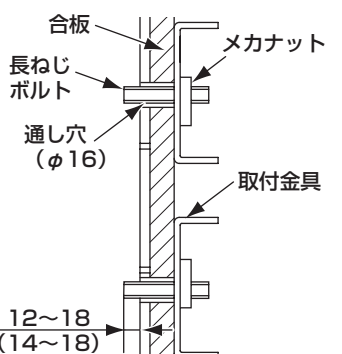
固定金具品番 T110D36+T110D54

①商品取付位置に、軽量鉄骨金具をt2.3mm以上の補強材の軽量鉄骨にドリルねじで固定する。**注1**

②壁仕上げ後、心出しを行いM10メカナットの通し穴φ16mmをあける。

③メカナットを取り付ける。

④長ねじボルトをねじ込み、壁仕上げ面より長ねじボルトの出代が12～18(前方アームレストの場合14～18)mmの範囲となるように調整する。**注2**



(14～18)寸法は前方アームレストの場合

注意

注1 軽量鉄骨はt2.3mm以上を使用してください。商品が外れたり、壁が壊れたりすることがあります。

注2 取付プレートのボルトの出代が壁仕上げ面より12～18(14～18)mmの範囲となるように調整してください。12～18(14～18)mmの範囲から外れると商品がガタついたり、取り付けできないことがあります。

〈取付方法〉 ※壁仕上げ後、取付金具の範囲内で商品の取付位置が調整できます。